

平成 29 年度 鳥羽市教育振興基本計画の評価(案)

鳥羽市教育委員会

第 3 章 施策の基本的方向

I 学校教育の充実

1 自ら学び、考える力を持つ子どもの育成

【成果指標と目標値】

成果指標	平成26年度	平成29年度	平成32年度
各教科等の指導のねらいを明確にした上で言語活動を適切に位置づけましたか。 「よくおこなった」の回答率※4	小学校 0% 中学校 0%	小学校 50% 中学校 0%	小学校 100% 中学校 100%
授業の冒頭で目標（めあて・ねらい）を示す活動を、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れたか。「よくおこなった」の回答率※5	小学校 12.5% 中学校 20.0%	小学校 62.5% 中学校 62.5%	小学校 100% 中学校 100%
授業の内容はよく分かりますか。 「当てはまる」の回答率 ※H26年度に関しては、全国学力・学習状況調査における児童生徒質問紙による抽出	小学校 38.1% 中学校 33.6%	小学校 40.1% 中学校 42.7%	小学校 60% 中学校 60%
学習ボランティア等の配置校数	小学校 3校 中学校 0校	小学校 1校 中学校 0校	小学校 7校 中学校 5校

言語活動の適切な位置づけについては、全国学力・学習状況調査（学校質問紙）の質問番号 27 の結果から、「している」と肯定的に回答している小・中学校は 100% であるが、「よくしている」まで到達できていない。特に中学校では、教科担任制の中であらゆる教科に言語活動を行う意識を学校全体でもっていく必要がある。

めあて・ねらいについては同調査の質問番号（33/34）の結果では「めあて」について「よく行った」は小中とも 75%、「振り返る活動」については 50% となっている。

「めあて」について 100% が達成できていない状況については、授業の基本的流れの中に取り入れていけるよう、「めあてのプレート」を作成するなど具体的な指導・助言を含めて行っていく。

授業内容がよく分かりますかについては同調査の質問番号（73/82）の平均値を出している。中学校の数学において 46.5% の生徒がよく分かる」と回答しており、中学校における少人数学習をはじめ、各校における授業の充実が見られる。

学習ボランティアについては、「三重県教育委員会事務局の大学生等の教育アシスタント活用事業」を活用している学校数となっている。今後も、鳥羽市独自の学習ボランティアの配置をめざしていく。

2 豊かな心を持つ子どもの育成

【成果指標と目標値】

成果指標	平成 26 年度	平成 29 年度	平成 32 年度
各小中学校における道徳教育の年間指導計画、全体計画の別葉の作成	7%	92.3%	100%

昨年度の加茂中学校、本年度の弘道小学校における研究発表会において、年間指導計画や全体計画の別葉が示されたことや、道徳教育推進担当者会議において全体計画及び別葉を作成していない学校には作成方法を示して作業を行ったことから、各校において作成が進んだ。

3 健やかな心身を持つ子どもの育成

【成果指標と目標値】

成果指標	平成 26 年度	平成 29 年度	平成 32 年度
コーディネーショントレーニングの体育科での実施	4校	11校	12校
学校給食における地場産物（県内産）活用割合	36%	37%	45%

コーディネーショントレーニングの体育科での実施については、加茂小学校における指導者を対象にした授業形式での研修会を開催し、鳥羽小学校、安楽島小学校、鳥羽東中学校においてもモデル授業を行ったことで、トレーニングの良さを広げることができた。研修会では三重県教育委員会の事業と共に行うことで多くの教員に参加していただくことができた。来年度については、中学校教員に枠を広げて研修会を行うとともに、研修会の日程を増やすことでより多くの参加者を募りたい。

学校給食における地場産物活用割合については、すべての児童生徒に給食提供できるだけの必要な量の確保、野菜の高騰等のために、割合を増やすことは難しい状況であった。来年度給食費を値上げすることで、地場産物の活用割合の増加が期待できる。

4 安全・安心な学校づくりの推進

【成果指標と目標値】

成果指標	平成 26 年度	平成 29 年度	平成 32 年度
学校施設の耐震化率（小中学校施設の耐震化率）※成果指標は、鳥羽市第5次総合計画 1-1-1 まちづくり指標より掲載	93.1%	100%	100%
緊急地震速報受信システムの設置数	幼稚園 1 園 小学校 3 校 中学校 1 校 (設置率約 33%)	幼稚園 1 園 小学校 8 校 中学校 5 校 (設置率 100%)	幼稚園 1 園 小学校 7 校 中学校 5 校 (設置率 100%)

学校施設の耐震化については、平成 28 年度に神島小中学校校舎建設工事が完了したことにより、市内の小中学校の校舎及び体育館の全てが耐震化された。今後は非構造部材の耐震化と施設の長寿命化を進めていく。

実践的防災総合支援事業を受け、緊急地震速報受信システムの設置率 100% を達成できた。今後はシステムを活用した避難訓練の実施を行い、緊急時に備えていく。

5 これからの学校

【成果指標と目標値】

成果指標	平成 26 年度	平成 29 年度	平成 32 年度
通学区の再編（統廃合に伴う通学区の再編）※成果指標は、鳥羽市第 5 次総合計画 1-1-1 まちづくり指標より掲載	小学校 9 校 中学校 5 校	小学校 8 校 中学校 5 校	小学校 7 校 中学校 5 校
タブレット型端末・プロジェクタ・スクリーン設置率 (設置学級数/全学級数)	小学校 16% 中学校 18%	小学校 34% 中学校 30%	小学校 60% 中学校 60%
図書館司書配置数	2 校	8 校	12 校

学校統合と通学の再編については、桃取小学校が平成 29 年 4 月に鳥羽小学校との統合により廃校となり、通学区の再編を行った。

また、菅島小学校の通学区再編については、保護者や関係者等と協議を行いましたが、計画書に記載されている平成 31 年度からの鳥羽小学校への統合は、平成 32 年度以降へ延期することとなりました。今後は、学校統合計画をきっかけに、島の活性化に取り組んでいくことや学校の在り方について引き続き協議していくこととした。

答志中学校については、里親制度などによる離島留学を平成 30 年 4 月から実施するため、地元の関係者を中心に実施委員会を設立し取り組みを行っており、今後も継続しながら状況を見極め、総合的に検討していくこととする。

タブレット型端末・プロジェクタ・スクリーンについては、それぞれ達成することができた。また、情報教育推進委員会で、各校での ICT 機器を活用した教育実践を交流したり、新学習指導要領の完全実施に先駆けてプログラミング教育を実施するための指導方法や教材の活用方法に関する研修を実施した。今後、更なる実践の推進に向けて情報教育推進委員会の活性化を図る。

図書館司書配置数については、平成 29 年 8 月から学校図書館環境整備事業（市単）により、小学校全 8 校に週 1 回程度、図書館司書を配置することができた。今後は、中学校への派遣に向けて取り組みを進めていく。

Ⅱ 地域全体で取り組む教育の推進

1 学校と家庭・地域の連携強化

【成果指標と目標値】

成果指標	平成 26 年度	平成 29 年度	平成 32 年度
学校ボランティア※2の活用数	小学校 5校 中学校 1校	小学校 8校 中学校 5校	小学校 7校 中学校 5校
学校関係者評価の公表数	小学校 5校 中学校 4校	小学校 8校 中学校 5校	小学校 7校 中学校 5校

学校ボランティアについては、「絵本と紙芝居の会」「ミルクィウェイ」の協力を受け、すべての小学校で読み聞かせ等のボランティア活動が行われている。そのことに加え、中学校を含む全ての学校において地域の方とつながり、ゲストティーチャー等の形で子どもたちの教育活動に協力をいただいている。

学校関係者評価の公表については、小・中学校で全校が実施している。家庭・地域・学校が三位一体で教育を行い、それぞれが連携した学校づくりをさらに進めていくために、全校実施を維持していく。

2 青少年育成活動の充実

【成果指標と目標値】

成果指標	平成 26 年度	平成 29 年度	平成 32 年度
青少年健全育成活動巡回指導参加者数	286 名	262 名 (H30.2 月末 現在)	300 名
放課後子供教室設置数	2 教室	2 教室 (見込)	3 教室

青少年健全育成活動巡回指導参加者数については、前年度とほぼ同数の実績となる見込みである。目標を達成するよう今後においてもセンター指導、合同指導等を関係機関と連携し、取り組んでいきたい。

放課後子供教室設置数については、現在は加茂小学校と安楽島小学校の2校で実施している。平成28年度に鳥羽小学校保護者への意向アンケート調査を実施しており、様々な課題が浮き彫りとなったことから、今後も継続的に学校等様々な機関と調整を図っていく必要がある。

Ⅲ 社会教育・スポーツの振興

1 誰もが学べる生涯学習の推進

【成果指標と目標値】

成果指標	平成 26 年度	平成 29 年度	平成 32 年度
生涯学習講座受講者（延べ人数）	1,359 名	1,717 名 （見込）	1,400 名
図書貸出冊数（市立図書館）	104,972 冊	88,608 冊 （H30.2 月末 現在）	110,000 冊

生涯学習講座受講者については、定期講座や特別講座等の合計講座を昨年度同様 29 種類開催した。近年の受講者の健康志向やアンケート結果をふまえ、体操系の講座を充実させたことが受講者増加につながった。また、鳥羽ならではの人気講座である鳥羽国際ホテルのシェフによる家庭でできるフランス料理講座は人気と話題性があり、テレビや新聞などの多くのメディアに取り上げられ、情報発信にもつながった。

図書館貸出冊数については、図書館ではブックスタート事業において、保護者へ図書館利用について説明を行ったり、小中学校へ団体貸出利用の周知を行ってきたが、貸出冊数は減少傾向にある。今後も引き続き、小さいお子さんから年配の方まで利用しやすい図書館を目指して、資料の充実や館内整備をしていく必要がある。

2 歴史・文化遺産を生かした郷土学習の推進

【成果指標と目標値】

成果指標	平成 26 年度	平成 29 年度	平成 32 年度
指定文化財の数	73 件	73 件 (見込)	78 件
郷土学習出前講座 実施の小学校数	2 校	4 校 (見込)	7 校
文化財展示施設の数	2 施設	3 施設 (見込)	3 施設

指定文化財の数については、前年度から指定文化財の数は変更なし。また、近年市内の祭りが担い手不足等の原因により廃止や休止の傾向にあることから、祭りの記録・保存など文化財調査委員会等で協議していきたい。

郷土学習出前講座実施小学校数については、昨年度から1校の減少となったが、今年度は新規事業として実施した「郷土学習推進のための教材等作成業務」の中で、鳥羽の歴史文化や偉人についてまとめた冊子「鳥羽歴史学習本とぼっこ探偵団—海からの挑戦状—」などの教材を作成した。次年度は本冊子を活用した郷土学習出前講座や小学校4年生を対象としたとぼっこ検定を併せて展開していくなど、より一層の郷土学習の推進に向けて取り組んでいく予定である。

文化財展示施設の数については、平成29年10月3日から海の博物館を市立化した。海に関する文化財や資料、各種体験メニューを行う登録博物館である海の博物館1施設の増加となった。また旧鳥羽小学校については、今後耐震工事等を施工し、文化財展示施設の増加、充実に向けて取り組んでいく。

3 生涯スポーツを通じた活力ある生活の推進

【成果指標と目標値】

成果指標	平成 26 年度	平成 29 年度	平成 32 年度
学校体育施設利用者数	33,239 名	27,800 名 (見込)	34,000 名
鳥羽市中央公園運動施設利用者数	44,910 名	39,000 名 (見込)	45,000 名

学校体育施設利用者数については、年度中のため、現在までの実績と前年度の実績等をもとに見込み数となっている。今後も生涯スポーツ推進の一環として、市内学校の体育施設を学校教育に支障のない範囲内で開放し、地域で行われるスポーツ活動等を支援していきたい。

鳥羽市中央公園運動施設利用者数についても、年度中のため、平成30年1月末現在までの実績と前年度の実績等をもとに見込み数となっている。自主事業では、各世代に合わせたスポーツ教室を開催し、スポーツに親しむ機会を提供するとともに、市民の健康増進に努めた。また、利用促進では、継続的に近隣の利用促進の取り組みでは、継続的に近隣の大学やスポーツ団体等に施設案内を行なうことで、新たな利用団体の増加だけでなく、リピーターの確保に努めた。

参考 V 計画の体系

自ら学び心豊かにたくましく生きようとする人間の育成

I 学校教育の充実

1 自ら学び、考える力を持つ子どもの育成

- 授業及び幼児教育の工夫・改善、言語活動の充実、家庭学習の推進
- 子どもの実態把握に基づく個に応じた指導の推進と充実
- 自ら課題を見つけ出し、社会の変化に主体的に対応できる子どもの育成
- 自らの将来や生き方を考えさせ、子どもの進路・学力を保障する教育の推進
- 教職員の資質向上と学力と創造性を伸ばす教育の推進

2 豊かな心を持つ子どもの育成

- 「人権感覚あふれる学校づくり」の推進と人権教育・学習の充実
- 系統性を持った人権教育の取組
- 地域の環境や人材を生かした体験活動の推進
- 郷土の良さを紹介できる子どもの育成
- 道徳教育の教育活動全体の場での推進
- 規範意識を高める日常の取組の推進
- 日常から文化・芸術に親しむ機会の充実

3 健やかな心身を持つ子どもの育成

- 基本的な生活習慣の確立
- 郷土の文化や食材を生かした食育の推進
- 学校給食の工夫
- 命の教育・性に関する教育の教育活動全体の場での推進
- 幼少期におけるさまざまな運動経験の機会の充実
- 運動を通じた学校間交流
- 関係機関と連携した特別支援教育の充実

4 安全・安心な学校づくりの推進

- 防災・減災教育の推進
- 避難訓練の計画的な実施
- 防災・減災教育指導資料の作成と活用
- 耐震化の推進
- 施設の安全対策と長寿命化対策

5 これからの学校

- 小中学校の適正規模・適正配置の推進
- 学校施設の適切な管理と良好な学習環境の提供
- ICT機器を活用した教育の推進
- 国際理解教育の推進
- 学校図書館の効果的な活用

Ⅱ 地域全体で取り組む教育の推進

1 学校と家庭・地域の連携強化

- 家庭・地域との連携推進
- 学校評価の充実
- 家庭・地域の教育力の向上

2 青少年育成活動の充実

- 次世代を担う青少年の育成
- 地域社会の中で子どもを育てる環境づくり

Ⅲ 社会教育・スポーツの振興

1 誰もが学べる生涯学習の推進

- 生涯学習講座の充実
- 図書館運営事業の充実
- 第2次鳥羽市子ども読書活動推進計画に基づく読書活動の推進
- 人権を尊重する啓発・学習活動の推進
- 地域づくりに携わる人材育成の推進

2 歴史・文化遺産を活かした郷土学習の推進

- 文化財の調査・収集・保存
- 文化財の展示収蔵施設の整備
- 郷土学習の推進
- 無形文化や民俗文化の保存

3 生涯スポーツを通じた活力ある生活の推進

- スポーツ推進事業の充実
- スポーツ団体との連携強化
- 中央公園運動施設の整備
- 学校体育施設の活用
- 国民体育大会「三重とこわか国体」への準備